

2. 災害に備える

2-4 避難訓練の実施について

近年、各地で局地的な豪雨や台風による大規模な水害が発生しています。併せて、排出能力を超えた水路等の水が市街地に流れ込み、内水氾濫により、住民が避難できず建物内に孤立する事案も発生しています。

消防局では、猪名川左岸において水害を想定した訓練を実施しました。自治会などの地域団体などでも、水害を想定した避難訓練を実施しましょう。



釜段工法



積み土のう



土のう作製

2-5 他のハザードマップなども確認しましょう

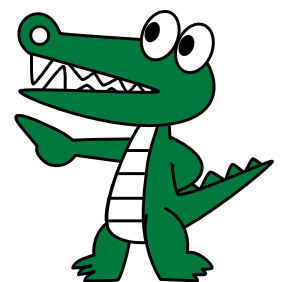
豊中市総合ハザードマップの他に、市では、局地的な大雨や大規模な地震などにより、万が一ため池が決壊した場合の備えとして、安全で迅速な避難行動に役立てていただくことを目的とした「ため池ハザードマップ」を作成しています。また、地震災害への備えとして、「わが家の防災マップ」を作成しています。

風水害と地震災害では使用できる指定緊急避難場所が異なります。地震災害の指定緊急避難場所は「わが家の防災マップ」をご確認下さい。

豊中市 ため池ハザードマップ



豊中市 わが家の防災マップ



2-6 排水ポンプ場の役割

排水ポンプ場は、雨水を川へ流せないような地盤の低い地域において、流れてきた雨水をポンプで揚水して川へと放流するために設けられています。

ただし、大雨によって河川の水位が高くなると、堤防の決壊を防ぐためにやむを得ず排水ポンプの運転調整をすることがあります。これにより内水氾濫による浸水が大きくなる可能性があります。



2-7 地下空間の危険性

地上が冠水すると一気に水が流れ込めます。

階段を上ることは水の勢いが強いので非常に危険です。



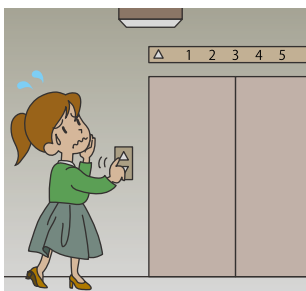
地下空間では外の様子がわかりません。

雨の強さや天候の急激な変化がわかりにくいので、避難が遅れるおそれがあります。



浸水すると停電するおそれがあります。

電灯が消えて室内は真っ暗になります。尚、エレベーターは使えなくなります。



水圧でドアは開きません。

水がある程度溜まると外開きでも内開きでもドアを開けることが出来なくなります。

